

FREEPLAY

Personal PA

取扱説明書



安全のために

この製品を設置、使用される前に必ずお読みください。

お使いになる方や周囲の方々への危害、財産への損害を防ぐため、下記の内容を守ってこの製品を安全にお使いください。本書はいつでもご覧になれる場所に保存してください。

本書で使用する記号について

 	「必ず守ってください」という強制を表しています。
---	--------------------------

 	「絶対にしないでください」という禁止を表しています。
---	----------------------------

 **警告** この記号は取扱を誤ると死亡や重傷、火災の原因になる可能性がある内容に付いています。



本書をすべて読むこと

この製品を設置、使用する前に必ず本書をすべてよく読み、本書の内容にしたがってください。



電源コードは仕様に適合した電源に接続すること

適合しない電源に接続すると、本体の故障、火災や感電の原因になる場合があります。



確実に接地すること（アース）

感電を防止するため、確実にアースに接続してください。



水分をかけたり湿気にさらさないこと

この製品の上に花瓶や飲み物など、液体が入ったものを置かないでください。この製品を直接水がかかる場所、または湿度の高い場所に置かないでください。感電や火災、故障の原因になります。



電源コードを濡れた手でさわらないこと 感電の原因になります。



長時間にわたって大音量で使わないこと
この製品をミキサーなど他の機器と組み合わせて、長時間にわたって大音量を再生しないでください。一時的または恒常的な難聴の原因になる場合があります。



異臭や異常を感じたらただちに電源コードを抜き、修理を依頼すること

正常に機能しない、異臭や異音がするなどの場合は、修理をご依頼ください。



移動するときはケーブルをすべて抜くこと
電源コードや接続ケーブルを接続したまま本体を移動しないでください。ケーブルを傷めたり、周囲の方が転倒する原因になります。



電源コードや電源プラグに異常がある場合は使用を中止し、修理を依頼すること

電源コードやプラグの摩耗、接触不良等の場合は本体を使用せず、修理をご依頼ください。



長時間使用しないときや落雷の危険があるときは電源コードを抜くこと

火災や感電、故障の原因になる場合があります。



本体を落下しないこと

本体の故障はもちろん、周囲の方が負傷する原因になります。



本体内部に液体や物を入れないこと

火災や本体故障の原因になる場合があります。この場合は修理をご依頼ください。



警告

この記号は取扱を誤ると死亡や重傷、火災の原因になる可能性がある内容に付いています。



禁止

製品を分解したり改造しないこと
火災や感電、けが、故障の原因になります。本体の内部にはお客様が操作する部分はありません。



必ず実行

他の機器と接続するときはあらかじめこの製品の電源を切っておくこと
接続時に大音量のノイズを発生し、聴覚異常やスピーカー破損の原因になる場合があります。



禁止

本体の換気用開口部をふさがないこと
本体内部の温度上昇を防ぐため、この製品の表面には換気用開口部があります。この開口部をふさぐと適切に換気ができず、内部の温度が上昇して故障や火災、誤作動の原因になる場合があります。



禁止

本体の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないこと
ガスが滞留して引火による火災などの原因になります。



必ず実行

スピーカースタンドは安全な場所で、規格に適合するものを使用すること
この製品をスピーカースタンドに取り付けて使用する場合は、安定した場所に設置してください。使用するスピーカースタンドの耐荷重、取付方法などの仕様を守ってお使いください。使用法を誤るとスピーカーが転倒し、近くにいる方が死亡または負傷する原因になる場合があります。



必ず実行

電源アダプターは必ずこの製品に付属のものをを使うこと
適合しないものを使用すると通電中に電源コードが加熱し、火災の原因になる場合があります。



必ず実行

電源プラグに手が届くよう設置すること
この製品の背面には電源を遮断する電源スイッチが付いています。この電源プラグに簡単に手が届くよう設置してください。



禁止

スピーカーを吊り下げるときにハンドルを利用しないこと
製品が落下して、近くにいる方が死亡または負傷する原因になる場合があります。このスピーカーは吊り下げて使うようには設計されていません。



注意

この記号は取扱を誤ると負傷、機器の損傷や物的損害の原因になる可能性がある内容に付いています。



必ず実行

本体は安定した場所に設置すること
本体を不安定な場所に設置すると、落下などによる故障の原因になります。



禁止

ボタンやスイッチ、入出力端子に無理な力を加えないこと
本体の故障やお使いになる方がけがをする原因になる場合があります。



禁止

高温になる場所に設置しないこと
直射日光が当たる場所、熱を発するものの近くに置かないでください。製品の上にもうすぐなど裸火を置かないでください。



必ず実行

スピーカーは定格範囲内で使用すること
定格範囲を超えるレベルや周波数を入力すると、スピーカーが故障する原因になります。特に歪みにはご注意ください。

修理

日本仕様の **Mackie** 製品の修理は、音響特機株式会社または提携サービスセンターで行っています。**Mackie** 製品の修理やメンテナンスが必要な場合は、次の手順に従ってください。

- 本書でご紹介しているトラブルシューティングの内容をチェックして下さい。
- テクニカルサポートに電話でまたは、**support_mackie@otk.co.jp** にメールで「メンテナンス申込書」を請求してください。
- 「メンテナンス申込書」に必要事項をご記入の上、**04-2944-3812** へ **FAX** してください。折り返し **RA** 番号と送付先のサービスセンターが記載された修理受付票を **FAX** で返送いたします。**RA** 番号はサービスセンターへ送付される前に必ず取得してください。
- オーナーズマニュアルと電源コードは同梱しないください。修理には必要ありません。
- 本体を梱包材とともに製品パッケージに入れて、サービスセンターへ送付してください。当社では輸送上のダメージを保証することができません。
- 必ず、**RA** 番号が記載された修理受付票のコピーを同梱してください。また送り状の通信欄にも、**RA** 番号と商品名、製造番号を記載してください。**RA** 番号のない修理品は受付することができません。
- 保証内修理を行う場合には、販売店印とご購入日が明記された保証書が必要です。くわしくは、次項の保証規定をご参照ください。

保証

- 本機の保証はご購入後 **1 年間**となっております。
- 正常な使用状態で本体に不具合が生じた場合、正規のサービス担当者が無償で修理を行います。ただし、下記の場合は保証規定から除外されておりますので、あらかじめご了承ください。
- お客様による輸送、移動中の落下、衝撃など、お客様のお取り扱いが適正ではなかったために故障が生じた場合
- お客様のご使用上の誤り、不適正な改造、弊社の認可のない改造及び修理が行われている場合
- 火災、煙害、ガス害、地震、落雷、風水害などの天変地異、あるいは異常電圧などの外部要因によって故障が生じた場合
- 本機に接続している機器及び消耗品に起因する故障、損傷
- 正常な状態でのご使用中でも、自然消耗、摩耗、劣化によって故障あるいは損傷が生じた場合
- 日本国外でご使用中の故障、損傷

技術的なご質問・修理窓口

サポートセンター

〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢2-37-1

 **04-2944-3811**

 **04-2944-3812**

 **support_mackie@otk.co.jp**

営業時間
休業日

月曜日～金曜日 9:00～17:30
土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏期

営業窓口

東京

東京都中央区日本橋小伝馬町10-1

 **03-3639-7800** (代表)

 **03-3639-7801**

大阪

大阪府大阪市淀川区宮原 2-14-4

 **06-6152-7751**

 **06-6152-7752**

名古屋

名古屋市東区泉1-23-30

 **052-950-3324**

 **052-950-3325**

福岡

福岡市南区大橋4-16-18-201

 **092-554-6066**

 **092-554-6064**

営業時間

月曜日～金曜日 9:00～17:30

休業日

土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏期

ご質問は電子メールでも承ります。

 **sales_mackie@otk.co.jp**

Contents

Contents

機能	5
はじめに	6
このマニュアルの使い方	6
その他の注意	6
クイックスタート	6
接続例	7
FreePlay コネクトアプリ	9
FreePlay: リアパネル	9
1. 電源コネクタ	9
2. 電源スイッチ	9
3. XLR & 1/4" コンポジャック	9
4. OL LED (オーバーロード LED)	10
5. Bluetooth / Aux インプット	10
6. Mon アウト	10
7. Channel 1 & 2 ボタン	10
8. BT / Aux	11
9. メインボタン	11
10. Running Man ログのオン / オフ	11
11. バッテリー残量	11
12. レベル	11
13. メーター	11
14. FX	12
15. Feedback desTROYer	12
16. EQ モード	12
17. Battery コンパートメント	12
Kickstand / Pole Mount	13
ファクトリーリセット	13
AC電源	13
お手入れとメンテナンス	13
付録A: サービスについて	14
付録B: リチウムイオンバッテリー取付け方法	15
付録C: Kickstand / Pole Mount 取付け方法	16
付録D: 技術情報	17
付録E: エフェクトプリセットリスト	21

機能

究極のオールインワン型パーソナルPA

- 迫力ある低域を再生する高出力 8 インチウーファーを搭載したフルレンジステレオシステム
- ボーカル用マイクやギターを接続して即座にミックスできる 4ch デジタルミキサー内蔵
- スマートフォン、タブレット PC、その他 Bluetooth 対応デバイスを接続して音楽をストリーミング再生できます。
- AC 電源に加え、バッテリー駆動にも対応し、電源の用意ができない環境でもご使用いただけます。
- 別売りのリチウムイオン電池を使用して最大約 10 時間の連続使用が可能¹
- 一般的な電池 (単一電池×8) でも駆動可能
- 操作性に優れたビルトインコントロールに加え、ワイヤレスでも全ての機能を制御可能

ポケットサイズのコントローラー

- iPhone®, iPod® touch、Android 用アプリ FreePlay Connect™²
- 入力レベル、ボーカルの EQ 処理、楽器のエフェクト設定など、全てのミックスパラメーターをモバイルコントロール可能
- iPhone やスマートフォンをマイクスタンドに取付けてステージ上でのミキシングや演壇からの簡易的なレベルコントロールが行えます。

プロ仕様の高度な機能を搭載

- 内蔵フィードバックデストロイヤーがハウリングを検知、除去してくれるので安心して演奏に集中できます。
- ボーカルリバーブやディレイなど 16 の即戦力エフェクトを内蔵
- チャンネル EQ、エフェクトレベルを含むチャンネルレベルをトータルコントロール
- 用途に応じて最適なスピーカーモードをボタン操作ひとつで切替できます。

別売りアクセサリ

- Kickstand / Pole Mount アクセサリー
- 充電式リチウムイオンバッテリー
- マイクやケーブルも収納できる頑丈なキャリーバッグ

¹ 走行距離は走り方次第です。バッテリーの寿命も使い方次第で音が鳴っている時間が長い程、電池の減りもはやくなります。

² 対応機種 iOS8以降搭載のiPhone 6 Plus、iPhone 6、iPhone 5S、iPhone 5C、iPhone 5、iPhone 4S and iPod touch (第5世代) Androidバージョン4.1-4.4もしくは5.0以降で対応



Like us



Follow us



Watch our dang videos

はじめに

FreePlay は究極のオールインワン型パーソナル PA です。持ち運びしやすいポータブルサイズでバッテリー駆動にも対応し、どのような環境でもパワフルなフルレンジサウンドを再生できます。

FreePlay は Bluetooth に対応し、モバイルデバイスから音楽をストリーミング再生し、マイクやギター等の楽器とミックスすることができます。

FreePlay app を使用するとモバイルデバイスからレベル、EQ、フィードバックデストロイヤーなどのパラメーターを調整できます。さまざまな環境に柔軟に対応しながら最高のサウンドを提供します。

ステージや楽屋、役員室など、場所を問わずパワフルで表現力豊かなサウンドを実現します。FreePlay は皆さんが主役になる舞台のお手伝いをいたします。

このマニュアルの使い方

このあとに続くクイックスタートガイドでは本機を設定するための手順が説明されています。接続例では典型的な使用例を紹介し、残りのページで本機の詳しい使い方についてご説明します。



このアイコンはこのミキサーで特に重要、あるいは独自の情報に付いています。よく読み、覚えておくのと良いでしょう。



このアイコンは機能に関する説明や実用上のヒントに付いています。知っておくと便利な価値ある情報が記載されています。



このアイコンは本機の機能について注目してほしい項目に付いています。

その他の注意

- 長時間、大音量で音楽を聞くと難聴の原因となる恐れがあります。
- 外箱は保管してください。将来必要になる時がくるかもしれません。ペットの遊び道具になってしまうかもしれませんが、そのときは付合っあけてください。
- 保証書は大切に保管してください。

クイックスタート

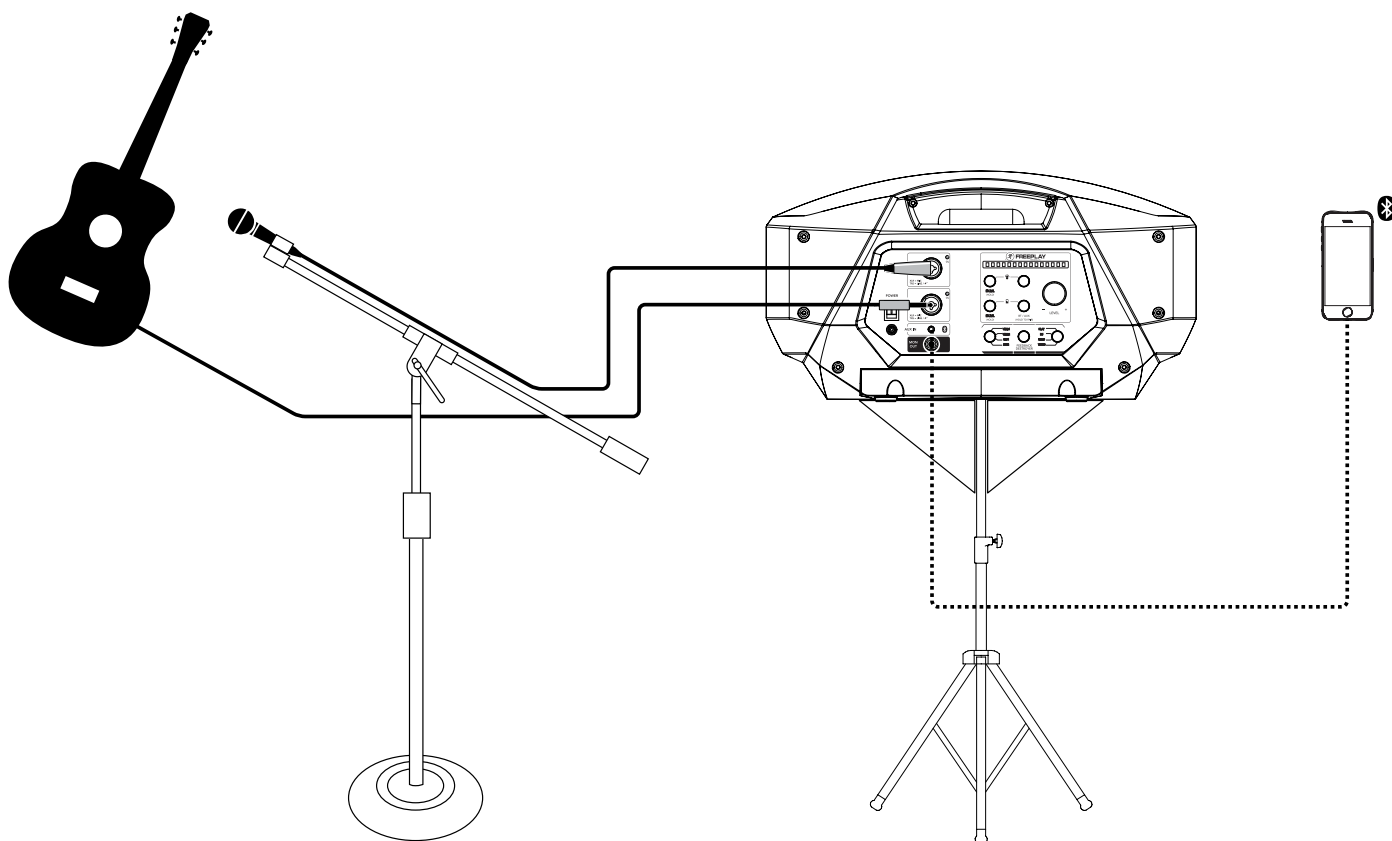
以下の手順に従うことでスピーカーをすばやく設定できます。



本書はFreePlayのハードウェアマニュアルです。ひと通りの動作確認ができればスマートフォンとペアリング(Bluetooth接続)してFreePlay Connectから各機能をコントロールしてみましょう。

1. ケーブルを接続する時は全ての機器の電源スイッチをオフにしてください。
2. 下記のように、機器を接続します。：
 - マイクロフォンはマイク入力へ。
 - ピックアップを取付けたアコースティックギターなどのライン楽器は Hi-Z 入力 (TRS ラインインプット) へ
 - キーボード、ドラムマシン、MP3 プレーヤーをラインレベルインプットへ。
 - スマートフォンをペアリングして Bluetooth 接続
3. 電源アダプターのコードを FreePlay に差し込み、もう一方の端を電源コンセントに接続してください。
4. FreePlay の電源をオンにします。
5. 接続する機器のレベルは通常使用時と同じようなレベルに設定しておいてください。音源を接続したインプットをリアパネルで選択し、入力レベルを右側のエンコーダーで調整します。
6. リアパネルで Main を選択し、エンコーダーを使用してマスター出力が聞きやすい音量になるようにレベルを調整します。
7. 本書の残りのマニュアル、そして FreePlay Connect のマニュアルをよく読んで各機能の理解を深めましょう。

接続例



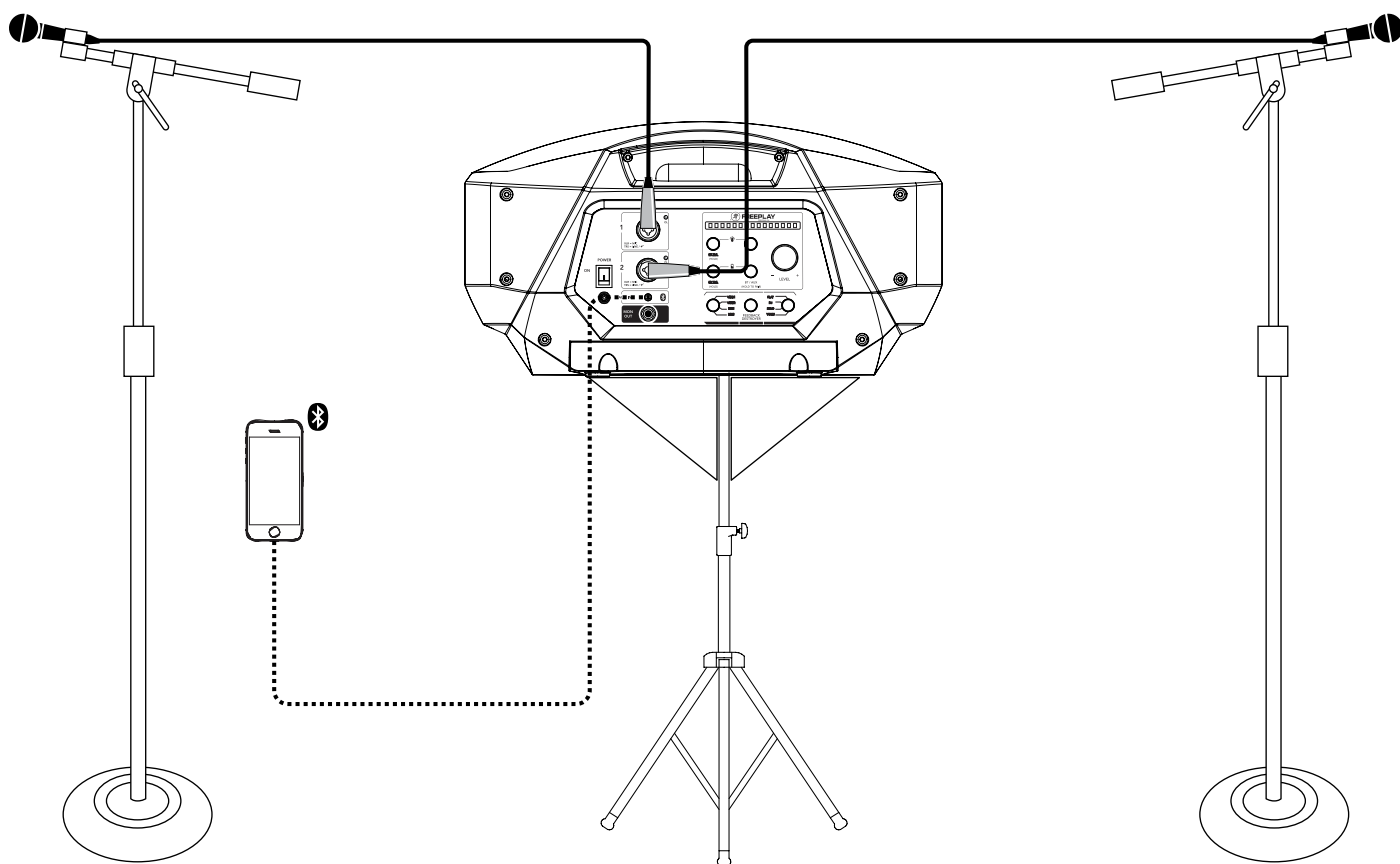
FreePlay はストリートで演奏するシンガーソングライターや世界中の人気カフェをめぐるツアーを組むミュージシャンには最適なツールとなるでしょう。

FreePlay の他にお気に入りの楽器、マイク、ケーブル、スマートフォンがあればいつでもどこでもライブができます。機材が揃ったらあとはソーシャルメディアを使ってライブスケジュールを告知するだけです。**FreePlay** でバックグランドトラックを再生するには **Bluetooth** (またはステレオミニ入力) を使って接続します。

この接続例ではマイクをチャンネル 1 入力へ接続します。レベルは 10-11 ページのレベル設定の手順に従って調整します。ギターはチャンネル 2 入力へ直接接続し、同様の手順で今度はギターのレベルも調整します。

出力に対しては環境にあわせて **EQ** モードを設定できます。**EQ** モードについて詳しくは 12 ページをご覧ください。今回のセットアップでは適度なローカットときらびやかな高域を特徴とする **Soloist Mode** を選択しました。**FreePlay** は自動的にハウリングを除去してくれるフィードバックデストロイヤーを内蔵しているので安心して演奏に集中できます。

接続例



FreePlay はプレゼンテーションやカラオケなどにもお使いいただけます。どちらの場合でも上図のように簡単にセットアップできます。

この接続例では 2 本のマイクをそれぞれチャンネルインプット 1 と 2 に接続します。スマートフォンは Bluetooth 接続、またはステレオミニインプットを使用して接続します。レベルは 10-11 ページのレベル設定の手順に従って調整します。

出力に対しては環境にあわせて EQ モードを設定できます。EQ モードについて詳しくは 12 ページをご覧ください。今回は Voice EQ、DJ EQ の 2 つの EQ モードを使用しました。

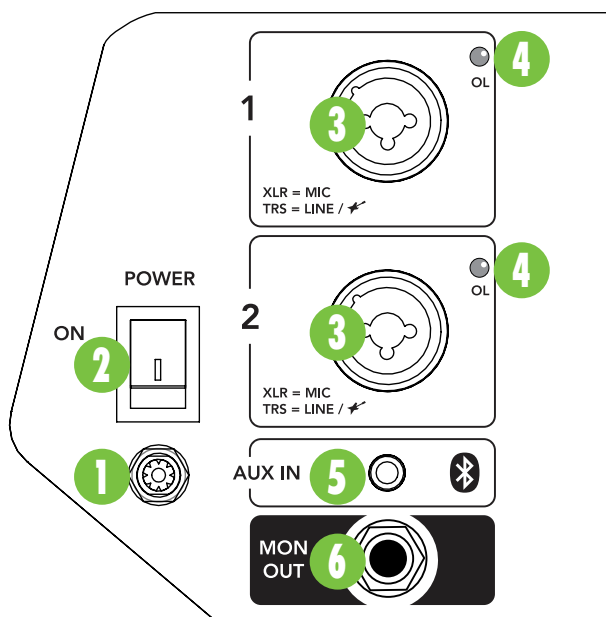
まず最初に Voice EQ モードを使用します。このモードは不要な低域を取り除きながら中域と高域の輪郭を際立たせることができるので、司会者の冒頭のスピーチをはっきりとしたクリアな音声で届けることができます。司会者の滑舌に問題がなければの話ですが…

スピーチが終わればパーティーの始まりです。EQ モードを DJ モードに切り替えましょう。リバーブも少し追加しながらスマートフォンから音楽をストリーミング再生します。マイクが 2 本接続されています。デュエットなんていかがでしょうか？

自動的にハウリングを除去してくれるフィードバックデストロイヤーをオンにすることを忘れないでくださいね。

プレゼンテーション / カラオケ

FreePlay: リアパネル



FreePlay コネクトアプリ

FreePlay は iPhone、iPod touch、Android 用アプリ「FreePlay Connect」と組み合わせて使用します。

本書に記載されたハードウェアの機能、そしてハードウェアには存在しない機能も全てこのアプリからコントロールできます。FreePlay Connect App からコントロールすることはできない機能は本体の電源のオン / オフと Bluetooth 機器同士を接続させるペアリングの設定のみです。

FreePlay Connect App に関する詳細は別紙、FreePlay Connect App リファレンスガイドをご覧ください。

1. 電源コネクター

FreePlay には 100VAC ~ 200VAC 対応のユニバーサル電源アダプターが付属しています。

電圧セレクタースイッチを使用なくとも世界中どこでも使うことができるので私たちは Planet Earth (地球) パワーサプライと呼んでいます。一般的にユニバーサル電源アダプターは通常のパワーサプライに比べ、電圧低下やスパイクなどの電圧異常の影響を受けにくく、電氣的にも隔離されているので優れたノイズ性能を持っていると考えられています。

ミキサーには 20V DC 外部パワーサプライと電源コードが含まれます。パワーサプライの電源コードの先端はバレルコネクターとなっており、このコネクターを FreePlay の電源コネクターに接続します。電源コードのメス側をパワーサプライへオス側を電源コンセントに接続します。正常に接続が完了するとパワーサプライの LED が緑色に点灯し、FreePlay の電源がオンになっていることを確認できます。



警告：グランドピンは危険ですので絶対に取り外さないでください。パワーサプライや電源コードに何かを取付けたたり取り外したりはしないでください。繰り返します。危険ですので絶対におやめください。

NOTE

FreePlay は一般的な単一電池、または専用リチウムイオンバッテリーを使用できます。専用リチウムイオンバッテリーは **Mackie** 正規販売店よりお求めください。リチウムイオンに関する詳しい情報は 15 ページをご覧ください。

2. 電源スイッチ

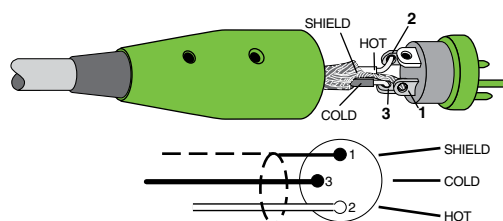
このロッカースイッチを上方向に押込むと FreePlay がオンになり、下方向に押込むとオフになります。

3. XLR & 1/4" コンポジャック

この XLR コネクターはバランスマイク / ラインレベル入力に対応します。XLR インプットコネクターは、ケーブルの配線は AES (Audio Engineering Society) の規格に従って下記のようにワイヤリングされています。

XLR バランス ワイヤリング:

- 1 番ピン = シールドまたはグランド
- 2 番ピン = 陽極 (+ またはホット)
- 3 番ピン = 陰極 (- またはコールド)



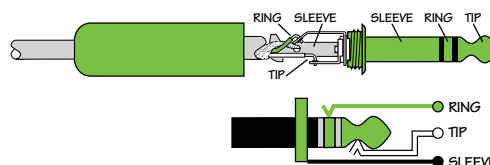
この端子は XLR に加え、1/4 インチ チップ-リング-スリーブ (TRS) プラグにも対応するコンポジャックとなっております。

この端子は Hi-Z 接続にも対応しているのでギターなどのハイインピーダンス楽器を DI ボックス無しで直接接続できます。

TRS はチップ-リング-スリーブの略で、ステレオ 1/4 インチのプラグに 3 つの接点があります。ケーブルは、下図のように、AES (Audio Engineering Society) の規格に従って配線してください：

1/4" TRS バランス MONO ワイヤリング:

- スリーブ = シールドまたはグランド
- チップ = 陽極 (+ またはホット)
- リング = 陰極 (- またはコールド)



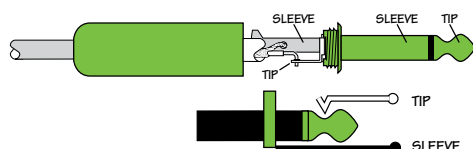
FreePlay: Rear Panel Features continued...

アンバランスラインのシグナルをインプットに接続する場合は、1/4 インチモノ (TS) フォンプラグを使用します。ケーブルの配線は、AES (Audio Engineering Society) の規格に従って下記のようにワイヤリングされています:

1/4" TS Unバランス MONOワイヤリング:

スリーブ=シールドまたはグラウンド

チップ=陽極 (+またはホット)



アンプからの出力を FreePlay のインプットに絶対接続することは絶対におやめください。入力回路の破損の原因になります。

4. OL LED (オーバーロード LED)

この LED はチャンネルに入力される信号のレベルが高すぎる場合に点灯し、信号が OL (オーバーロード) していることをお知らせします。この LED が点灯し続ける場合は入力機器に対して適切にゲインが設定されているかを確認してください。入力信号が -2dB に達するとクリッピングが発生します。

5. Bluetooth / Aux インプット

FreePlay は 1/8" ステレオミニプラグ型の外部入力端子 (Bluetooth / Aux) を装備しています。この端子にスマートフォンや MP3 プレーヤーなどを接続して音楽をストリーミング再生できます。入力レベルは本体のロータリーレベルノブまたは FreePlay Connect App でコントロールできます。



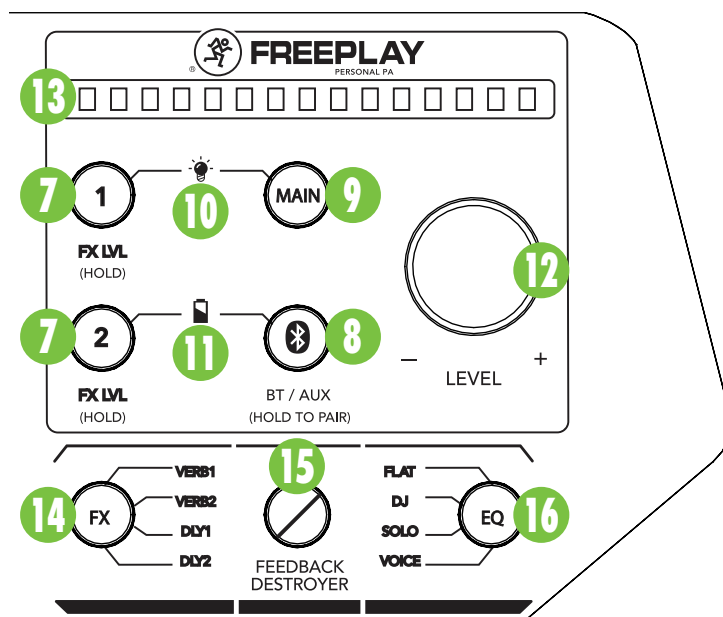
静電気放電 (ESD) が発生すると機器の誤動作の引き金となり Bluetooth 接続が解除される場合があります。この場合はもう一度、Bluetooth を再接続してください。



アンプからの出力は絶対に Freeplay にインプットに直接接続しないでください。入力回路が破損する場合があります。



1/8" ステレオミニプラグと Bluetooth は同時に接続することはできません。BT / Aux 端子に物理的にケーブルを差し込むと Bluetooth 接続に対して有線接続が優先されます。例えば Bluetooth 接続してスマートフォンで音楽を再生中に MP3 プレーヤーを BT / Aux 端子に物理的に接続すると MP3 プレーヤーからの音源が再生されます。



6. Mon アウト

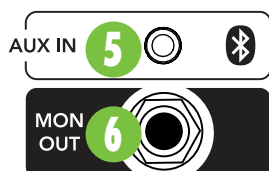
Mon Out にはパワードラウドスピーカーやサブウーファーを接続します。この端子からはモノラルにサミング (ミックス) された信号 [メインバスのコピー] が出力されます。

Mon Out から取り出されるシグナルはポストメインフェーダーです。つまり FreePlay の本体または FreePlay Connect App で行ったボリュームの変更に追従します。

7. Channel 1 & 2 ボタン

各チャンネルのインプットレベルは該当するチャンネルセレクトボタン (チャンネル 1、チャンネル 2 ボタン) を選択し、ロータリーレベルノブでレベルを調整します。チャンネルボタンは選択すると白く点灯します。白く点灯した状態になるとロータリーノブでレベルを調整できます。インプットレベルはメーターで白い LED で表示されます。無操作状態が 5 秒間続くと、選択が解除されデフォルトの Main に戻ります。

チャンネル 1、2 ボタンを長押しするとチャンネルの FX センドのレベルを調整できます。FX センドレベルの調整モードが選択されるとボタンは緑色に点灯します。ロータリーレベルノブで選択したチャンネルの FX センドレベルを調整します。FX センドレベルはメーターで緑色の LED で表示されます。5 秒間操作が何も行われないと選択が解除されデフォルトの Main に戻ります。



FreePlay: Rear Panel Features continued...

8. BT / Aux

Aux IN に接続、または Bluetooth 接続したデバイスのインプットレベルを調整するには BT / AUX ボタンを押して選択後、ロータリーレベルノブまたは FreePlay Connect App を使用してレベルを調整します。ボタンは選択すると Bluetooth 接続する機器がペアリングされていなくても点灯します。インプットレベルは LED メーターで確認できます。5 秒間何も操作が行われない状態が続くと選択が解除されデフォルトの Main に戻ります。



BT / AUX ボタンを長押しするとペアリングモードになります。ペアリングモード時はボタンは白く点滅します。iPhone、iPad、スマートフォンでペアリング操作を行い、FreePlay を検索します。利用可能デバイスに FreePlay が表示されたら選択します。これでデバイスがペアリングされ接続が完了します。うまく接続できない場合は Freeplay とお使いの Bluetooth 機器の両方がペアリングモードであることを確認し、再度お試しください。



静電気放電 (ESD) が発生すると機器の誤動作の引き金となり Bluetooth 接続が解除される場合があります。この場合はもう一度、Bluetooth に再接続してください。



機器がペアリングされていないときにスマートフォンや MP3 プレーヤーを Aux In にケーブルで接続している場合、Bluetooth チャンネルはこれらの機器のレベルをコントロールします。

9. メインボタン

メイン出力のレベルは MAIN ボタンを選択し、右側のロータリーレベルノブ調整します。アウトプットレベルはメーター上で白い LED で表示されます。無操作状態が 5 秒間続くと、選択が解除されデフォルトの Main に戻ります。

10. Running Man ロゴのオン / オフ

FreePlay のフロントパネルにある Running Man ロゴはチャンネル 1 と MAIN ボタンを同時に長押しすると点灯します。

Running Man ロゴをオフにするには同じ手順をもう一度繰り返します。

右上の表が示すように Running Man ロゴの点灯状態でバッテリーの残量を確認できます。

11. バッテリー残量¹

FreePlay のリチウムイオンバッテリーの残量はチャンネル 2 ボタンろ BT / AUX ボタンを同時に長押しすると確認できます。

FreePlay のフロントパネルにある Running Man ロゴはバッテリー残量に応じて下記のように点灯します：

残量/電源ソース	Running Man LED
残量ゼロ〜残りわずか / AC 電源	緑
5%~100% / DC 電源	緑
0%~5% / DC 電源	琥珀色



皆さんは車のガソリンが空になったらどうなるかわかりますよね？車はもう走る事はできなくなりますが、ラジオをつけたり、パワーウィンドウの操作はバッテリーがあるかぎり可能です。FreePlay も同じように動作します。LED が赤く点灯してもまだ内蔵ミキサーは動作するし、LED も点灯します。しかしスピーカーから音は出なくなります。イースターエッグや秘密の宝物の登場を期待したいところですが、残念！赤ランプの意味するところは「バッテリーを充電するか電源コードをコンセントに差し込んでください」ということだけです。

12. レベル

ロータリーノブにはいくつかの役割があります。選択されているボタンに応じて、インプットレベル、FX センドレベル、トータルボリュームを調整できます



デフォルトでは MAIN が選択されており、ロータリーノブではメイン出力のレベルを調整します。他のボタンに切り替えた時は 5 秒以内に操作を開始してください。無操作状態が 5 秒間続くと、選択が解除されデフォルトの Main に戻ります。

13. メーター

15 セグメントメーターでは現在選択しているソースのインプットレベルとアウトプットレベルを表示します。

他のソースのレベルを確認するにはボタンの選択を変更して、レベルノブを時計回り / 反時計回りに操作すると表示がすぐに反映されます。

メーターはレベルだけでなくシグナルのピーク、平均値も表示するように設計されています。レベルを操作した時はこれらの値も更新されます。無操作状態が 5 秒間続くとデフォルトの Main に戻りメーターはアウトプットレベルを表示します。

¹この機能はMackie製リチウムイオンバッテリー(パーツ番号:2043880-00)使用時のみ表示できます。単一電池使用時はバッテリー残量は表示されません

FreePlay: リアパネル

14. FX

FreePlay はリバーブ、ディレイ、コーラス、それらの組み合わせを含む 16 種のエフェクトを搭載しています。

FreePlay は Verb1、Verb2、Delay1、Delay2 の 4 つのプリセットを搭載しています。FX ボタンを使用したいプリセットが選択されるまで繰り返し押します。選択するとボタンは緑色に点灯します。無操作状態が 5 秒間続くと、選択が解除されデフォルトの Main に戻ります。

FreePlay Connect App からはさらに多くのエフェクトを選択できます。アプリではマスター FX リターンレベルを調整することもできます。FreePlay Connect App についての詳細は FreePlay Connect のリファレンスガイドをご覧ください。



15. Feedback desTROyer

このマルチバンド フィードバックデストロイヤーは不快なフィードバックを検知するとノッチフィルターが自動的に作動しフィードバックを抑制します。

オフ[デフォルト] - フィードバックデストロイヤーは動作していません。フィードバックデストロイヤーをオフにすると全てのフィルターの設定が無効になり、LED もオフになります。

オン - フィードバックデストロイヤーをオンにするとスキャンングが始まります。ハウリングが発生している周波数帯域を検知するとその周波数をロックし、ノッチフィルターがピンポイントで不快な周波数を除去していきます。

フィードバックデストロイヤーがオンになるとボタンが白く点灯します。

NOTE フィードバックデストロイヤーは検知した周波数ポイントを記憶しないので、電源をオフにする度に周波数はリセットされます。

無操作状態が 5 秒間続くと、選択が解除されデフォルトの Main に戻ります。

16. EQ モード

スピーカーモードでお使いの環境にあった適切なモードを選択することでピーカーを最適化できます。スピーカーモードには 4 つのモードがあります。任意のモードの LED が点灯するまで繰り返しモードボタンを押してモードを選択します。

FLAT EQ モード - このモードはその言葉が示すようにブーストもカットもしないフラットな EQ モードです。

DJ EQ モード - このモードは低域と高域を強調します。音楽再生に適したモードです。

SOLO EQ モード - このモードは不要な低域を取り除き、中高域にきらびやかさを加えます。シンガーソングライターのステージ用セットアップには最適です。

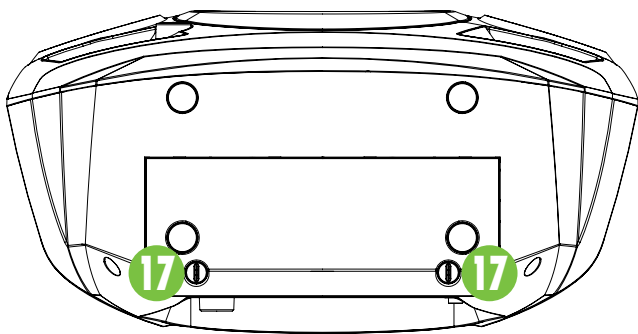
Voice EQ モード - このモードは不要な低域を大胆に取り除きつつ、中高域をブーストすることでサウンドの輪郭を際立たせます。広いスペースでもクリアな音質が求められるスピーチ用セットアップには最適です。

FreePlay は上記 EQ モードに加え、FreePlay Connect アプリから操作する 3 バンド EQ を各チャンネルで使用できます。詳細は FreePlay Connect のリファレンスガイドをご覧ください。

無操作状態が 5 秒間続くと、選択が解除されデフォルトの Main に戻ります。

17. Battery コンパートメント

FreePlay には電源アダプターが付属していますが、アダプターを持参しなかったり、キャンプ、フリーマーケット、ストリートなどコンセントが無い環境ではどうすればよいでしょうか？ 簡単です…バッテリーを使用してください。



バッテリーコンパートメントは FreePlay の底部にあります。2 つのリリースラッチをマイナスドライバーを使用して反時計回りに回すとロックが解除されコンパートメントカバーを外す事ができます。

内側の表示にしたがって単一電池を 8 本いれます。

カバーをしめてリリースラッチを元の位置に戻しロックします。



オプションのリチウムイオンバッテリーを別売りにてお求めいただけます。リチウムイオンバッテリーは充電式バッテリーなので毎回電池を買い替えるより経済的です。

リチウムイオンバッテリーについての詳細は 15 ページの付録 B: リチウムイオンバッテリー取付け方法をご覧ください。

Kickstand / Pole Mount

FreePlay はテーブルや机、そしてマントルなど硬い平面に設置することを想定して設計されていますが、別売りのキックスタンドやポールマウントアクセサリを使用することで、45° の角度をつけて配置したり、モバイル PA には欠かせないポールマウント設置にも対応します。

Kickstand についての詳細は 16 ページの付録 C: Kickstand / Pole Mount 取付け方法をご覧ください。

ファクトリーリセット [別名: Vulcan Mind Meld]

FreePlay の各種設定は FreePlay Connect からコントロール可能ですが、工場出荷時のデフォルト設定に戻すにはハードウェアリセットを行います。

ハードウェアリセットを行うと、レベル、EQ を含む全てのユーザー設定が消去されます。FreePlay をリセットする時は、アンプやパワードスピーカーなどの Mon Out と接続している機器がある場合は必ず電源を落としてください。

FreePlay をリセットするには Main、チャンネル 2、FX ボタンを同時に長押しします。



デフォルトのキーコンビネーションを使用してファクトリーリセットを実施すると前回ペアリングした機器の情報もメモリから完全に消去されます。問題を回避するにはこのデバイスの登録を解除をタップし、再度ペアリングを行い接続を再確立してください。

AC電源

FreePlay を接続するコンセントが、ご使用のモデルに適した電圧を提供することを確認してください。必要電圧を少し下回っても、スピーカーは作動し続けますがフルパワーを発揮することはできません。

接続された全ての機器に対して必要な電力を確保できているかを確認してください。

堅実で強力な AC 電源の供給が望まれます。アンプは AC ラインに高い電力を要求します。供給される電力が多いほどスピーカーの音量は大きくなり、ピーク出力が増大してクリーンで迫力のあるベースサウンドが得られます。ベースサウンドが迫力にかけられる場合、原因の多くはアンプに供給される電力不足が考えられます。



電源コードのグランドピンや FreePlay の部品は絶対に取り除いたり取り外したりはしないでください。大変危険です。

お手入れとメンテナンス

FreePlay は、下記のガイドラインに従って使用されている限り、長年にわたって信頼性の高いサービスを提供します。

- このスピーカーを霧にさらさないでください。野外で使用する場合は、雨がつかないようにカバーしてください。
- 極端に温度が低い場所に置かないでください。気温が低い場所でこのスピーカーを使用しなければならない場合は、Freeze Play² - 高出力で動作させる前に、低いレベルの信号を送って、15 分ほどボイスコイルを暖めてください。
- キャビネットのお手入れには、乾いた清潔な布だけをお使いください。お手入れの前には必ず本体の電源を切ってください。キャビネットの開口部から霧を内部に侵入させないように、特にドライバーが入っている部分には注意してください。

2. 本日の早口言葉は伝説のバンド J. Geils Band のアルバム名から! FreePlay Freeze-frame (フリーズプレイ、フリーズフレーム) を 10 回早口で言ってみましょう。

付録A:サービスについて

FreePlay に問題が発生した場合は、下記の「トラブルシューティング」を参照して問題点をご確認ください。下記の内容に沿って状況を確認しても問題が解決しない場合、または明らかに製品が故障している場合は、ただちに使用を中止してこの製品をお求めの販売代理店まで修理をご依頼ください。

トラブルシューティング

電源が入らない

- **Mackie** お気に入りの質問。**AC** コードを接続してありますか？コンセントから電力が供給されていますか？（テスターやランプなどで確かめてください。）
- 次にお気に入りの質問。**Power** スイッチをオンにしましたか？なっていないければスイッチを入れてください。
- バッテリー駆動していますか？
- 電池はフルに充電されていますか？
- 電池の入れる向きは間違っていないですか？
- 内部のヒューズが飛んでいるかもしれません。この製品の内部にはお客様が交換する部品はありません。この製品をお求めの販売代理店まで、修理を依頼してください。

音が出ない

- インプットレベルを絞っていないですか？ システム中すべてのボリュームコントロールが適切に調整されているか確認してください。レベルメーターを見て信号が入力されているかを確認してください。
- シグナルソースは機能していますか？ ケーブルに問題がないこと、両端でしっかり接続されていることを確認してください。接続している機器のボリューム（ゲイン）コントロールが、このスピーカーの入力をドライブするのに十分なだけ上がっていることを確認してください。
- 接続している機器の電源がオンになっていること、ミュートされていないかを確認してください。このような状況だったら、問題のスイッチを外す前に必ず音量 / ゲインを下げてください。

低域特性が良くない

- 低域にパワーがないときはコンセントから十分な電力が供給されていない場合があります。詳細は13ページの**AC電源**をご覧ください。

音が良くない

- 音量が大きくて歪んでいますか？ 信号経路で過大入力となっている原因がないかを確認してください。システム中すべてのボリュームコントロールが適切に調整されているか確認してください。
- 入力コネクタがジャックに最後までしっかり挿し込まれていますか？ すべてしっかり接続されていることを確認してください

ノイズが出る

- スピーカーに接続している全ての機器の出音に問題がないことを確認してください。
- 信号ケーブルを電源コードや電源トランスなど電磁干渉を発生するものの近くに設置しないでください。
- スピーカーと同じ電源回路に、照明用ディマーや**SCR**ベースの機器を接続していませんか？ **AC**電源フィルターを使うか、スピーカーを別の**AC**電源回路に接続してください。

ハム

- メインインプットジャックに接続したケーブルを抜いてください。これでノイズが消えた場合は、**FreePlay** に問題があるのではなくグラウンドループによるノイズがはっせいしているかもしれません。以下のトラブルシューティングを試してみてください。
- ノイズを最大限除去するため、システム全体をバランスで接続してください。
- 可能な場合は音響機器の電源コードをすべてコモングラウンドを共用するコンセントに接続してください。コンセントとコモングラウンドの距離は可能な限り短くしてください。

ご不明な点は...

- **www.mackie-jp.com**

にアクセスしてサポートの項目をご覧ください。

- **support_mackie@otk.co.jp**

までメールをお寄せください。

- テクニカルサポートセンターにお電話ください。

日本語 **04-2944-3811**（月～金曜、9am～6pm）

英語 **1-800-898-3211**（月～金曜、営業時間 PST）

付録B:リチウムイオンバッテリー取付け方法

製品について

電源を用意できない環境でもリチウムイオンバッテリーを使い **FreePlay** を使用する事ができます。リチウムイオンバッテリーは充電式バッテリーなので電池の交換に伴う無駄な出費もありません。

FreePlay リチウムイオンバッテリー (Part No. 2043880-00) 内容物:

パーツ番号	数量	内容
2043880-00	1	リチウムイオンバッテリーパック
2045707	1	取付手順書

必要工具 (付属しません):

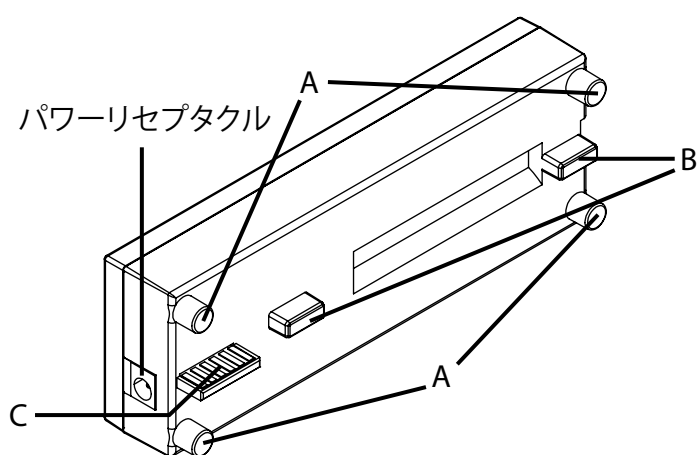
マイナスドライバー

安全第一！

本製品を取付ける前にこの手順書をお読みいただき、正しい取付方法でご使用いただきますようお願いいたします。不適切な設置は、機器の破損や人体への障害の原因になる場合があります。

1. 警告：バッテリー（バッテリーパックを含む）を高温・高湿、直射日光のあたる場所で保管しないでください。
2. 注意：不適切なタイプのバッテリーに交換すると爆発の危険があります。正規品または同等のバッテリーのみご使用ください。
3. ろうそくの炎などの直火の近くに機器を配置しないでください。

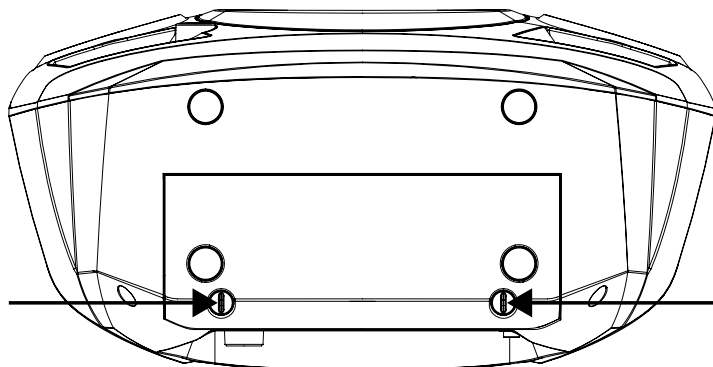
！ 警告：本製品の取付けは安全基準を満たしている事を確認した上で行ってください。またこの手順書で記載された以外の方法では設置しないでください。



バッテリーカバーの取り外し

リチウムイオンバッテリーカバーパックを取付けるには、まず始めにバッテリーカバーを取り外します。

1. 2つのリリースラッチをマイナスドライバーを使用して反時計回りに回すとロックが解除されコンパートメントが浮き上がります。
2. バッテリーカバーを取り外し、カバーを横に置いておきます。

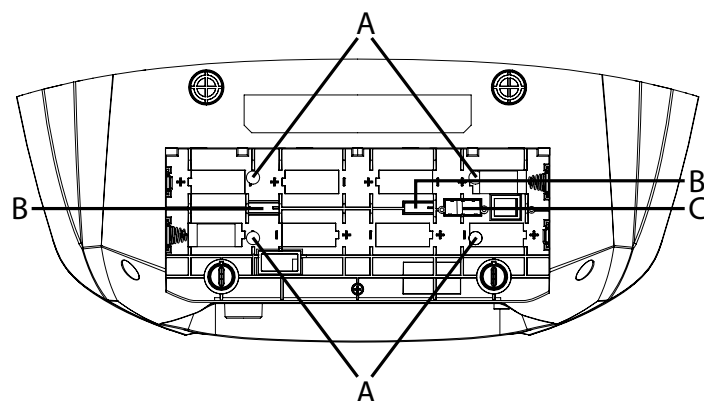


バッテリーパックの取付け

バッテリーカバーを取り外したら、バッテリーパックを取付ける事ができます。

NOTE: バッテリーパックが収まりにくい場合でも無理に押込まないでください。取付ける向きが正しければ力を入れることなく取付ける事ができるはずです。

1. バッテリーパックの4つの丸脚部(“A”)、2つの支え棒(“B”)、電源コネクター(“C”)を本体の該当する部分にあわせながら収納します。



2. カバーをしめて2つのリリースラッチを時計回りに回して元の位置に戻しロックします。

NOTE: バッテリーパックは単体でも **FreePlay** 取付け時でも充電可能です。使用していない時はリチウムイオンバッテリーパックのパワーリセプタクルに **FreePlay** の電源コードをとりつけて充電してください。

付録C: Kickstand / Pole Mount 取付け方法

製品について

Kickstand / Pole Mount は FreePlay™ の底部からバッテリーカバーを取り外しに取付けます。Kickstand / Pole Mount を使用すると (1) FreePlay に 45° の角度をつけて設置したり、(2) 一般的なスピーカースタンドの上に置いて設置することができます。

Kickstand / Pole Mount (Part No. 2043890-00) 内容物:

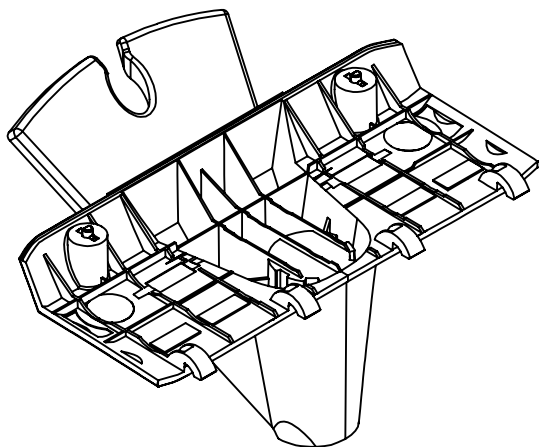
パーツ番号	数量	内容
2043890-00	1	Kickstand / Pole Mount
2045708	1	取付手順書

必要工具 (付属しません):
マイナスドライバー

安全第一!

本製品を取付ける前にこの手順書をお読みいただき、正しい取付方法でご使用いただきますようお願いいたします。不適切な設置は、機器の破損や人体への障害の原因になる場合があります。

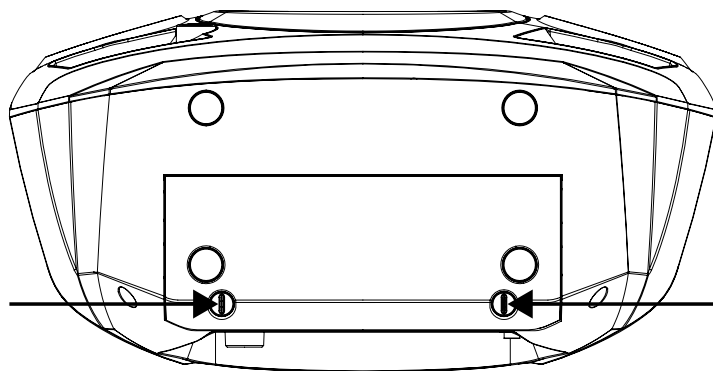
⚠ 警告: 本製品の取付けは安全基準を満たしている事を確認した上で行ってください。またこの手順書で記載された以外の方法では設置しないでください。



バッテリーカバーの取り外し

リチウムイオンバッテリーカバーパックを取付けるには、まず始めにバッテリーカバーを取り外します。

1. 2 つのリースラッチをマイナスドライバーを使用して反時計回りに回すとロックが解除されコンパートメントが浮き上がります。



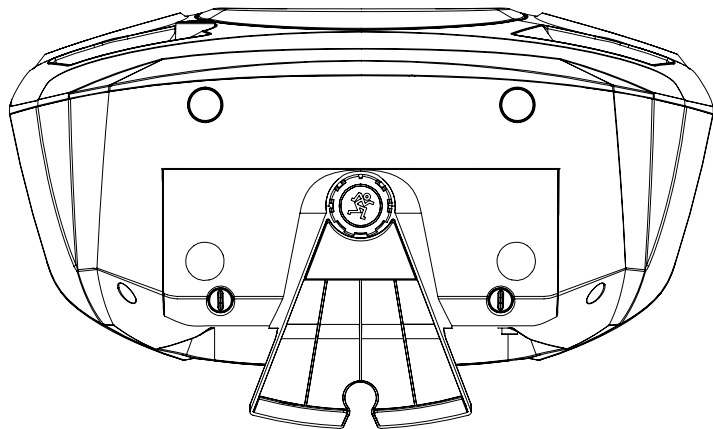
2. バッテリーカバーを取り外し、将来必要になったときの為に保管しておいてください。

Kickstand / Pole Mount の取付け

バッテリーカバーを取り外したら、Kickstand / Pole Mount を取付ける事ができます。

1. Kickstand / Pole Mount を取り外したバッテリーカバーがあった位置にあわせめます。

NOTE: Kickstand / Pole Mount の 4 つのラッチが FreePlay の 4 つの穴と重なっている事を確認します。 .



2. Kickstand / Pole Mount を押さえながら 2 つのリースラッチを時計回りに回して元の位置に戻しロックします。

付録D:技術情報

FreePlay 仕様

音響特性:

周波数特性 (-10 dB)	65 Hz – 20 kHz
周波数特性 (-3 dB)	80 Hz – 20 kHz
最大ピークSPL(@ 1m 換算) ¹	114 dB
クロスオーバーポイント	3.0 kHz
放射角	90°

EQ

ロー・シェルビング	±15 dB @ 80 Hz
ミッド・ピーキング	±15 dB @ 2.5 kHz
ハイ・シェルビング	±15 dB @ 12 kHz
ステップ	±3 dB

高域ユニット

ボイスコイル直径	1.0 in / 25 mm
ホーン開口部直径	1.0 in / 25 mm
ダイヤフラム材質	ポリエステル (PEN)
マグネット材質	フェライト

低域ユニット

ウーファー直径	8.0 in / 203 mm
ホーン開口部直径	1.2 in / 30 mm
ダイヤフラム材質	加工紙
マグネット材質	フェライト

パワーアンプ

システムパワーアンプ	
定格出力	150 W (rms) 300 W (ピーク)
パワーアンプ[低域]	
定格出力	75 W (rms) 150 (ピーク)
全高調波歪率	1%
冷却	コンバージョン
動作方式	クラスD

パワーアンプ[高域]

定格出力	37 W (rms) x2 75 W (ピーク) x2
全高調波歪率	1%
冷却	コンバージョン
動作方式	クラスD

システムプロセッシング

チャンネル EQ	3-バンド
メイン EQ	4 ボイシングモード
FX	16 プリセット
フィードバックデストロイヤー	オン / オフ

インプット / アウトプット

XLR	10 kΩ バランス
1/4" TR	100 kΩ バランス
1/4" TS	400 kΩ un/バランス
1/8"	10 kΩ
Monitor アウト	1/4" TRS バランス

¹ ドライバー感度とアンプパワーより換算

FreePlay 仕様

電源

電源コード	100–240 VAC、50/60 Hzインプット、1.5 A 20 VDC アウトプット、3.25 A
ACコードコネクター	IEC 60320 C7
動作温度 (許容室内温度範囲)	0 ~ 40 °C

寸法/重量

高さ	241 mm
幅	452 mm
奥行き	231 mm
重量 (バッテリー / 電池含まず)	5 kg

保護機能

入力保護	リミッター(RMS,ピーク) 電源、アンプ温度保護
ディスプレイLED	フロントパワー インプットシグナル/OL
ステイタス表示機能	インプット / アウトプットレベル バッテリー残量 FX オン / オフ、FXレベル Feedback desTROYer オン/オフ EQスピーカーボイシングモード オン/オフ

アクセサリ

FreePlay リチウムイオンバッテリー	P/N 2043880-00
FreePlay Kickstand / Pole Mount	P/N 2043890-00
FreePlay バッグ	P/N 2036809-28

LOUD Technologies 社は、常に新しい素材、部品、製造方法を取り入れて製品を改善するよう努めているため、製品の外観および仕様は予告なく変更することがあります。

「ランニングマン」、「Running Man」は LOUD Technologies 社の登録商標です。他の商品名または会社名は各社の商標または登録商標です。

バッテリー

バッテリータイプ	リチウムイオン
放電容量	5200 mAh
電圧(公称)	7.4 V DC
動作温度範囲	-20 to 60 °C
充電温度範囲	0 to 40 °C

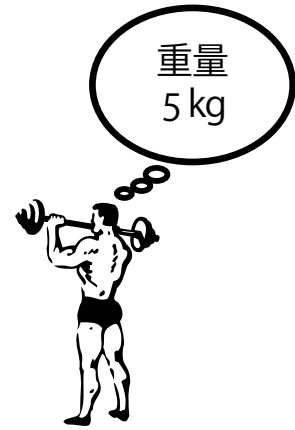
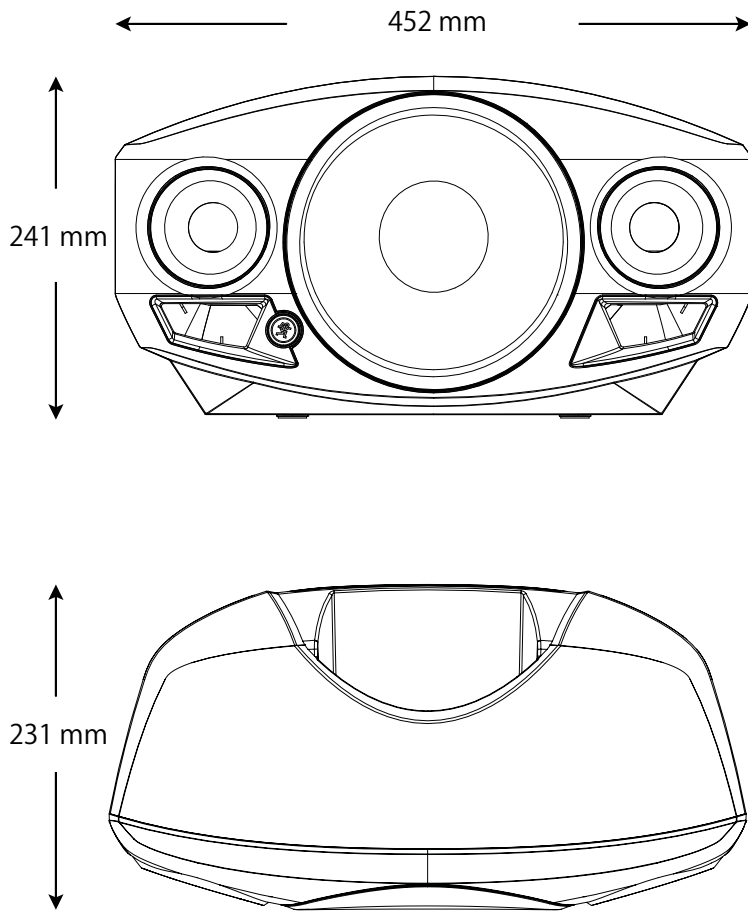
Bluetooth

Bluetooth プロトコル	3.0
Bluetooth 機能	オーディオストリーミング ユーザーインターフェイスコントロール
工場設計認証番号	 図 208-150027

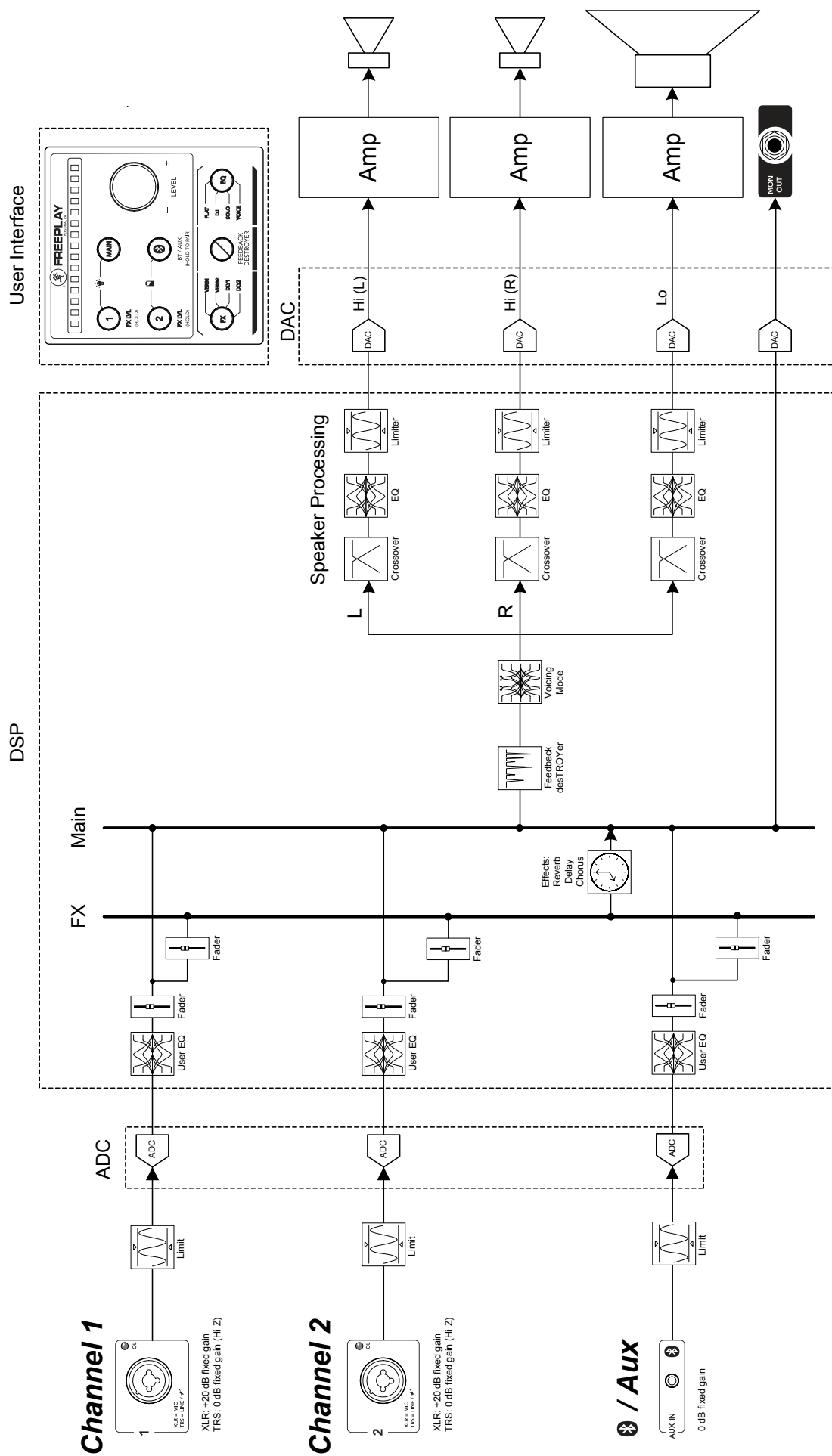
構造

キャビネット	PC-ABS
仕上げ	高耐磨耗黒塗装
ハンドル	上部に 1 つ
グリル	パウダーコーティング21ゲージスチール
モニターアングル	45° (別売り kickstand使用時)

FreePlay 寸法



FreePlay ブロックダイアグラム



付録E:エフェクトプリセットリスト

下記リストのエフェクトはFreePlay Connect Appからアクセスできます。Verb 1、Verb 2、Delay 1、Delay 2の4つのエフェクトはFreePlay本体からアクセスできます。

FreePlay Connect Appからエフェクトを選択した場合、本体のFXボタンは点灯しません。

Title	Description	Example of its use
Bright Room	トーンは明るめの、反射音が拡散するスペースで、固く反射しやすい壁をシミュレートしています。	ボーカルをミックスで浮き立たせる明るいリバーブです。アコースティック楽器にかけるとライブ感が増します。
Warm Lounge	中程度の広さのルーム/ラウンジをシミュレートしていて、中低域を少しだけ強調した温かみのあるトーンです。	広がりのある「ウェット」なボーカルが求められる曲に最適です。明るいホーンセクションにかけると耳障りにならず広がりを持たせることができます。
Small Stage	中程度のリバーブタイムと残響を持つ小さいコンサートステージをシミュレートしたプリセットです。	アップテンポのボーカルやギター、エネルギッシュな曲にかけると、ライブ感のあるリバーブになります。
Warm Theater [Verb 2 on FreePlay]	どっしりした音で中程度の長さのリバーブが特徴で、劇場空間の響きをシミュレートしています。	ボーカル、ドラム、アコースティック/エレクトリックギター、キーボード、その他に適しています。
Warm Hall	広々として居心地が良く、ドレープやカーペットに囲まれたコンサートホールをシミュレートしたリバーブで、とても暖かみのあるサウンドです。	近接マイクで録音されたオーケストラ楽器にかけると、コンサートホールの自然なアンビエンスを追加することが可能です。
Concert Hall	大きく広がりのあるサウンドや長いプリディレイ、響き渡るトーンといった特徴を持つホールの残響をシミュレートしたリバーブです。	ソロ、オーケストラ、コーラスに関わらず、アコースティック楽器やボーカルに生命感を与えます。
Plate Reverb [Verb 1 on FreePlay]	金属プレートビンテージリバーブマシンをエミュレートしたプリセットです。大量の初期反射音で特徴で、プリディレイはありません。	スネアドラムやタイトなボーカルアレンジなど、パーカッシブなサウンドに深みを与えるのに最適です。
Cathedral	石壁のかなり大きな礼拝堂のような、残響が長く拡散の、密度が高く、また長いプリディレイと反射音の特徴とするリバーブです。	コーラス、管楽器、オルガン、ソフトなアコースティックギターに驚くほどの深みを与えます。
Chorus	ソフトで微妙なスウィープエフェクトを生み出すプリセットで、特定のサウンドに厚みを加えてミックスの中で際立たせるときに有用です。	エレクトリック/アコースティックのギターやベースに最適です。特にハーモニーやコーラスといったボーカルに劇的な効果を与えます。
Chorus + Reverb	上記のコーラスエフェクトと大きな空間のリバーブエフェクトの見事なコンビネーションのプリセットです。	コーラスエフェクトによってサウンドに厚みを加わると同時に、スムーズなリバーブによって温かみと広がり感が追加されます。
Doubler	ボーカルや楽器などをマルチトラックレコーダーで2回重ね録りしたサウンドをエミュレートしたエフェクトプリセットです。	微妙に音が残り続けることなく、コーラスエフェクトに似たビブラートが得られます。
Tape Slap [Delay 1 on FreePlay]	オリジナルのシグナルに比較的短いディレイが一度だけかかります。ディレイサウンドはビンテージのテープエコーのような温かいトーンです。	ボーカルにやギターに1950年代のフィーリングが求められるとき使用されます。あるいは単に「12」という数字がお好きな方にもよく使われます。
Delay 1 [Delay 2 on FreePlay]	ディレイタイムが300 msのプリセットです。ディレイタイムが短いほど、ディレイのスピードは早くなります。	アップテンポのロックで素材をミックスになじませたいときに短いディレイを使用すると効果的です。
Delay 2	ディレイタイムが380 msのプリセットです。ディレイタイムが短いほど、ディレイのスピードは早くなります。	アップテンポのロックで素材をミックスになじませたいときに短いディレイを使用すると効果的です。
Delay 3	ディレイタイムが480 msのプリセットです。ディレイタイムが短いほど、ディレイのスピードは早くなります。	アップテンポのロックで素材をミックスになじませたいときに短いディレイを使用すると効果的です。
Reverb + Delay	リバーブエフェクト (Warm Theater) に3回くり返されるディレイエフェクトを組み合わせたプリセットです。	ボーカルに深みを与えると共に空間を広げます。エレクトリックギターの空間系エフェクトとしても最適です。

Memo

Memo

